

演題: デジタル歯科治療を成功に導くためのルール

hama lab 代表 濱崎順一

目的

近年, 歯科治療においてデジタル技術の活用は不可欠となっている. 特に IOS(口腔内スキャナー)の普及により, 印象採得のデジタル化は急速に進み, 従来法で問題となっていた石膏膨張や印象材変形から解放されつつある. 本講演の目的は, デジタル歯科治療における精度確保と臨床応用のための基本原則と応用ポイントを整理し, 成功に導くための勘どころや, チェアサイドとラボサイドの基本的なルールを提示することである.